

入力者氏名	教員所属	科目名	アンケートに対するコメント
川村幸夫	基礎教養	英語Ⅱ（多読）月3（10098）	この科目のアンケート結果は、全学平均とほぼ一致しています。想定していた通りの結果になっています。授業の目的は多読ですが、インプットばかりでなく、プレゼンでのアウトプットも採り入れたことは、受講生にとってはよい効果があったと思っています。また、レベルや興味に合わせた本を学生が自主的に選ぶことも、受講生の主体性（主体的な学習）を育む効果があったと思います。
川村幸夫	基礎教養	英語Ⅱ（多読）月4（10102）	この科目のアンケート結果は、全学平均とほぼ一致しています。想定していた通りの結果になっています。授業の目的は多読ですが、インプットばかりでなく、プレゼンでのアウトプットも採り入れたことは、受講生にとってはよい効果があったと思っています。また、レベルや興味に合わせた本を学生が自主的に選ぶことも、受講生の主体性（主体的な学習）を育む効果があったと思います。楽しく学習できたという意見があり、よい結果が残せたと思います。
福田有美	基礎教養	英語Ⅱ〔多読〕	自分に合ったレベルで、英語を読む楽しさを見つけ、苦手意識を克服した学生が見受けられたことはよかったです。
浅岡 章一	人間心理	睡眠の生理心理学Ⅱ	全般的に高い評価をいただき有難うございました。専門的な内容を積極的に取り扱う授業ですので、皆さんの理解の程度や興味の持続という点で多少の心配がありましたが、「多くの知識を得ることが出来た」や「授業内容は分かりやすいものだった」等の得点も全学平均を上回っており、大変安心しました。その一方で、予習・復習等の時間は十分ではなかったようです。今後は、もう少し授業外での学習をサポートできるような教材の提供に努めたいと思います。
福田 一彦	人間心理	教育心理学	全学平均よりも評価が低かったものについてコメントします。問3「出席率はどうでしたか」たしかに、この授業の学生の出席率は非常に悪いです。私は人間心理学科の教員ですが、こんなに出席率が悪い授業は人間心理学科の専門科目では存在しません。問15「授業開始・終了の時間は守られていた」なぜ、この評価が平均よりも低いのか分かりません。授業開始時刻に遅れた事は皆無ですし、授業終了はだいたい所定時刻の5分くらい前だったと思います。不正確な評価です。問16「話し方は明確だった」明確に話していたつもりです。問17「学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営につとめていた」この評価に1とつけている学生がいますが、何を指して評価しているのか私には全く分かりません。問18「教員の授業に対する熱意を感じた」授業内容は論理的な内容なので、熱意が伝わるというような科目内容ではないかもしれませんね。問19「総合的に考えてこの授業を後輩や他の人に薦めたい」教員としての感想としては、この授業をとっている学生には、真面目に出席して良い点数を取る学生もいますが、全般的に休み勝ちだったり、テストの点数が悪すぎたり、正直、やる気をまったく感じられない学生が多いのも事実です。また、ほぼ同程度の難易度の人間心理学科の授業と比較しても、点数や受講態度が悪すぎます。心理学科の授業と言っても、1年生の授業と比較しているので、専門を学んだ学生ではありません。入学したての学生と比較しての印象です。実際、出席が悪すぎたり、テストの点数が悪すぎたりして半数以上の学生が単位をとれない状況が続いています。特に、将来、人に教える立場である教員になろうとする人の受講態度ではありません。もっとまじめに授業を受けていただきたい。猛省してほしいです。
福田 一彦	人間心理	心理学概論	この授業の評価で全学平均よりも低かったのは、問1「シラバスをよく読んだ」、問2「授業中の自分の受講態度」、問4「積極的にノートをとる」、問6「予習や復習にどの程度時間をかけたか」、問7「成績の評価基準を理解している」、問8「自分はこの授業を評価する資格がある」という全て自分の受講態度に関する低評価（反省）であった。授業の総合評価（平均点）は全学評価の平均値（4.3）よりも高い（4.4）なので、概ね良い評価が得られていると思います。自由記述も概ね良い評価だったが、1点「実験内容についてスライドだけだと分かりにくいので実験の意図などがあると分かりやすい」という意見がありました。スライド上に実験についての説明を言葉で加えようと思います。有意義な意見をありがとうございます。
福田 一彦	人間心理	人間心理学基礎	全学平均よりも低かったのは、問2「授業中の自分の受講態度」、問6「予習や復習などにどの程度時間をかけたか」の二つで、いずれも自分自身の受講態度の低評価（反省）である。全体的な評価平均は全学平均（4.3）よりも高く（4.7）、概ね高い評価だったと思います。自由記述「福田先生大好きです」は誰だか分かりませんが、ありがとうございます。
福田 一彦	人間心理	社会心理学調査演習	全学平均よりも低かったのは問1「シラバスをよく読んだ」、問2「自分の受講態度」、問8「自分はこの授業を評価する資格がある」という自分自身の受講態度についての低評価（反省）である。全般的に評価は高く、全学平均が4.3のところ、この科目の平均は4.7であった。

福田 一彦	人間心理	専門ゼミナールⅠ	全学平均よりも低かったのは、問1「シラバスをよく読んだ」と問7「成績の評価基準を理解している」であった。シラバスをよく読まないのは、必修のゼミ科目なので、仕方がないと思います。成績の評価基準を理解しているについては、講義科目などと違い、テストで点数をつけるわけにも行かず確かに明文化するのが困難な部分があります。しかし、ゼミでの取り組みについては、少人数なので評価できないという事は全くありません。
福田 一彦	人間心理	専門ゼミナールⅡ	全学平均よりも低かったのは、問1「シラバスをよく読んだ」、問5「予習や復習に関連する取り組みを行った」、問8「自分は授業を評価する資格がある」、問10「授業を通して多くの知識を得る事ができた」、問13「板書や機器を使った表示文字は見やすかった」、問14「専門知識や専門用語の説明は分かりやすかった」、問15「授業開始・終了の時間は守られていた」、問17「学生の私語を注意するなどスムーズな授業の運営に努めていた」であった。この中の問1、問5、問8は、自分のゼミへの取り組みの低評価（反省）と考えられます。問10については、卒論に関する専門的な内容なので「多くの知識」に当てはまらなかったのでしょうか。問13については、研究室でデータなどを大型ディスプレイで見ながら処理を進めるというようなやり方だったので、「板書など」という表現が当てはまらなかったのではないのでしょうか。また、問15の授業開始終了の時刻ですが、4年生のゼミについては、卒論の内容が個別に進むにつれて、一人一人個別に指導していたので、当然、時間割通りの授業コマでは行っていなかったで、そのことを指しているのでしょうか。問17については、個々の学生のマンツーマン指導なので、他の学生の私語自体が存在しません。これも本来は「該当せず」という事が正しいのではないのでしょうか。授業形態によっては、回答できない項目も多いので、出来れば、今後は、この項目は「当てはまらない」というような選択肢も作ってもらえないだろうかと思います。授業評価の平均値は一応、全学へ行きと同じ4.3でした。
山本隆一郎	人間心理	専門ゼミナールⅡ	この授業は、4年生対象のゼミナールである。学生自身が選択して選んだゼミナールであるため、評価は概して高かった（4.8点）。また、他の授業比較しても、質問6の授業外に時間をかけたことを評価する項目も3.7点と高く、主体的なコミットメントをした上で、一定の満足度が得られていると考えられる。自由記述の中にも、研究内容だけでなく、研究者として学ぶことがあったという意見も拝受し身の引き締まる思いである。今後も自分のゼミの専門性を高め、学生さんと研究活動を充実させていきたいと考えている。
山本隆一郎	人間心理	専門ゼミナールⅠ	この授業は、3年生対象のゼミナールである。学生自身が選択して選んだゼミナールであるため、評価は概して高かった（4.9点）。また、他の授業比較しても、質問6の授業外に時間をかけたことを評価する項目も4.0点と高く、主体的なコミットメントをした上で、一定の満足度が得られていると考えられる。自由記述への回答は特になかったが、5.0点の項目も多く概して、満足度や各自が得られたと考えるものも多かったと考えられる。今後も自分のゼミの専門性を高め、学生さんと研究活動を充実させていきたいと考えている。
山本隆一郎	人間心理	人間心理学基礎	この科目は、1年生の必修科目であり、「江戸川大学の学生として」「人間心理学科の学生として」の学びの基礎を少人数制のゼミ形式で行う授業である。全体の平均値は4.6点と高い評価を頂いた。しかしながら、毎年書いていることではあるが、この類の少人数制の授業には多く認められることであるが、学生同士の相互作用やインフォーマルな場での交流の良好さという点が大きく評価に関係している。授業評価の項目内容の性質もあるが、「楽しかった（自由記述にも2名書いてくれました）」ではなく、「この授業の前後で何が変わったか（誰も書いていませんでした）」を意識してほしい。もちろん後者を支えるため、授業へのコミットメントを維持するために楽しさは重要であろう。基礎ゼミ生の皆さんは、この授業を通じて、大学という場の学びの基礎として何が身についたかを省察してください。
山本隆一郎	人間心理	臨床心理学概論／臨床心理学	この科目は2年生の通年必修科目であり、膨大で広範な内容に関して学ぶことに加えて、各種臨床心理学モデルの背景にある人間観など、抽象度も高く、学生さんにとっては難しい科目の一つであると考えられる。しかしながら、100名弱の必修科目の全般的な評価としては4.6点と高く、概ね満足度が高かったと考える。自由記述についても、「学生を意識して授業をしている」「わかりやすい」「楽しい」「授業内容に限らず、資料、話し方全体的に将来のためになる」「感想への返信が丁寧で面白い」など、授業の更なる向上に取り組んだ内容を汲んで、吸収してくれている様子が見えがえた。臨床心理学は、勉強するというより学問の探究を通じて人生を考える学問である。復習をしたり日常を学んだことで説明しようとしたりすることはきっと人生の役に立つと思うし、そう思えるように授業を行ったつもりである。授業が終わったから終わりではなく、学びを日常生活に生かしていただきたい。

井上一郎	マスコミ	マーケティング論2	<p>授業評価はほぼ全学平均と等しい評価となっていますが、中でも「多くの知識を得た4.5」「専門知識や専門用語の説明がわかりやすかった4.5」の得点が高かったことは、専門用語の多いマーケティング論の講義であることから安堵しました。一方でアンケートでは自作ノートのためのテストはキツイ、事前で抜けている部分がわかりにくいなどのコメントがありました。講義では、教員が自作したテキスト（パワポをpdf化）をエドクラテスに事前にアップして進行します。（これは初回でも説明したことですが）そのため事前にアップするテキストは講義内容を網羅した上で、「あえて抜いている部分」もあります。その理由は、一つは講義内での質疑を活性化させること、二つ目は、講義や講義内の質疑を聞きながら各自メモし、講義後に、テキストとメモをもとに復讐として2時間以上かけて「自作のノート」を作成をしてもらうためです。確かにテキストの内容は幅広いですが、試験では授業で行ったところから出題し、復習=自作ノート作成のモチベーションアップのため「自作のノート」は試験時に持ち込み可としました。</p>
井上一郎	マスコミ	メディア産業論2	<p>授業評価はほぼ全学平均と等しい評価となっていますが、中でも「多くの知識を得た4.5」の得点が比較的高かったことは、様々なメディア産業について学ぶ講義特性からはよかったです。また、90人を超える授業でしたが、講義により能動的に参加してもらうためにグループワークも実施しましたが、アンケートの記述欄では「多くのことを身につけられた」などポジティブなコメントが複数あり安堵しました。一方で、多数のグループによる演習はタイムマネジメントが難しい部分があり、今後の検討課題としたいと思います。</p>
林香織	マスコミ	メディアコミュニケーション論II	<p>本科目は、マスコミ学科の必修科目です。専門用語が多く、これからのマスコミ学科の学修の基礎科目であることを考えると、「問9わかりやすさ」「問11授業の目的的理解」などの項目は全学平均以上を獲得しておきたいと感じるので、今後よりいっそう努力します。概ね、平均と同じような評価でしたが「問17学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」は全学平均4.3に対し、本科目は4.6とやや高くなっていました。コメントにも「静かに受けられてよかった」「ちゃんと言葉で注意してくれた」などの散見されました。注意するのはこちらにとってもエネルギーがいりますし、授業をスムーズに進行させるために、注意をしなければならない状態なのは、残念だと思います。しかし、中にはきちんと授業を受けたいと思っている学生もいるので、自分の授業の受講姿勢は今一度見直すべきではないかなと思います。えどへんを口頭のみで伝えることについて、「性格の悪さが最高」というコメントがありましたが……エドヘンを板書すれば「性格がいい」のでしょうか。コメントの在り方も検討するべきだと思いました。</p>
林香織	マスコミ	マス・コミュニケーション史II	<p>本科目は、マスコミ学科の必修科目です。概ね、全学平均的な評価になっていましたが、「問4積極的にノートをとる」「問6予習復習」「問17学生の私語を注意」などの項目は、全学平均より0.2~0.4ポイントほど高くなっていました。基礎科目はカリキュラム上必要なものではありませんが、必修である以上、卒業単位数に関わるため、しぶしぶ受講している人もいると思います。その中で、こうした項目が平均以上というのは、皆さんの自主学習の成果が見られるので、非常にうれしく感じました。一報で、「問13表示文字が見やすい」については0.2ポイントほど低くなっていました。コメントにもスライドの文字数が多いとありました。授業の中でも注意しましたが、「スライドを書き写す」ことが勉強ではありません。授業内で、スライドの大事なところをメモにとり、あとから、スライドを見返す、ということのために多い文字数で書かれています。文字数を減らしたら、きっと、それ以上のことは勉強しなくなるのでは？その意図をきちんと読み解いて、授業にのぞんでくれることを希望します。</p>
林香織	マスコミ	広告論II	<p>本科目は、2019年度より担当することが決まった私にとっては新規科目で、正直、どのやり方が適切なかを模索している授業です。ただ、半年一緒に学修した結果、金曜日の5限ということもあり、非常に意識の高い学生が集まっていると感じました。「問1シラバスをよく読む」「問2授業態度」「問3出席」「問4積極的にノートをとる」「問5予習復習」など、学生自身の評価を問う項目については、全学平均より0.1~0.3ポイントほど上回っており、私自身の実感のエビデンスとなるデータになっていました。しかしながら、「問11授業の目的」「問13板書の見やすさ」については全学平均より0.4~0.5ポイントほど低くなっており、教材の作り方には工夫が必要だと感じました。他の講義と違い、配布資料を作らなかったことが原因かなと思いましたが、次年度より検討していきたいと思えます。</p>

林香織	マスコミ	マスコミ学応用	<p>本科目は、マスコミ学科1年生の後期必修科目として、開講されています。マスコミ就職を目指すためにどのような準備をすべきか、キャリア、学問の双方の観点から、それぞれの専門的知識を持ち合わせる教員がオムニバスで講義を行っています。マスコミ関連の資格の模擬演習なども組み込み、より実践的な学修ができるようカリキュラムを組んでいるため、多くの学生はそれを理解し、評価もおおむね全学平均となっていました。コメントにも「将来について考える良い機会」「100分だと足りない」「タメになる話が多い」「基礎的な能力や知識を身に付けられた」などが散見され、関わった教員にとって非常にやりがいのある授業であったと感じられました。一方で、「問6予習復習」については、全学平均2.4に対し、1.9とかなり低くなっていました。シラバスを読んでいない人、も散見されることから、各回のラストに次回の授業内容を予告するなどの工夫が必要かもしれません。率直な意見をくださった方に感謝します。</p>
熊田 凡子	こどもコミュ	保育者論	<p>アンケート結果では、ほぼ全額平均値と類似しているが、自由記述では、わかりやすい、勉強になりました等、学びの充実感を示している記述があるため、学生にとって、充実していた授業であったことが推察でき評価できると思う。一方、ビデオ上映中に、教員の声が入ったため映像の音が混在した点の指摘が記述にあったため、教材の活用時、教員の応答の在り方・振る舞いに留意しつつ、今後の授業実践に活かしたいと思う。</p>
熊田 凡子	こどもコミュ	保育課程論	<p>アンケート結果は全学平均値とほぼ類似しており、17. 「学生の私語を注意するなど、スムーズな授業の運営に努めていた」が若干低めで4.0であったため、学生の学ぶ姿勢に留意した授業展開を意識したいと思う。自由記述では、今後の役立つ授業内容だった、という記述があり、学生にとって継続的な充実を得る学びとして感じていると評価もできると思う。</p>
熊田 凡子	こどもコミュ	保育内容総論	<p>アンケート結果では、ほぼ全額平均値と類似していて、受講学生の予習復習の不十分さが感じられる評価であると言える。しかし、自由記述によれば、「難しかったけど勉強になった」、「子どものことについて沢山学べた」、「たくさんの遊びをしてとても楽しかった」、というような学びに対する前向きな姿勢が感じられる感想があるため、そうした楽しさを感じていることから、予習復習の学びの意欲に繋がる課題の例示方法等を検討していきたいと思う。</p>
熊田 凡子	こどもコミュ	保育実習指導Ⅱ	<p>アンケート結果によれば、全学平均値よりいずれも高い評価で、例えば10.「授業を通して多くの知識を得ることができた」が4.6、11.「授業は何を目的としているのかが、明確に理解できた」が4.6となっており、学生の自ら学ぶ意欲、意識が高まる授業を行えたことが推察でき評価できる。自由記述では、実習に活かしていきたい、という記述が見られ、学生自らが実習での実践的な学びに繋げる自覚を持った上で、本授業に取り組んでいたということも考えられるため、そうした学生の意識を高く継続して学ぶことができるよう授業の雰囲気工夫点等をも今後考えてみたいと思っている。</p>